

# 東北大学大学院歯学研究科 インターフェイス口腔健康科学 第98回学術フォーラム

*Forum for Interface Oral Health Science*

## Vital Pulp Therapyと歯髓の治癒

月星 光博 先生

東北大学歯学研究科口腔修復学講座歯科保存学分野  
医療法人月星歯科クリニック

平成28年10月5日（水）17:30～19:00  
歯学研究科大会議室（C棟1階）

歯髓は最良の根管充填材であるといわれる。とくに歯根未完成歯に歯髓の問題が生じた場合、歯根完成における抜髓処置や感染根管処置などの通常の治療概念を当てはめることは、歯の延命に有利には働かない。理由は、広く開いた根尖孔をもった根管を物理的に緊密に閉鎖することが困難なことや、仮にできたとしても薄い根管壁を残すような治療のゴールは予後に不安を残すからである。そこで、可及的に生体(歯髓)の治癒力を引き出すような治療方針を選択することが要求される。具体的には、歯髓が活着している場合はapexogenesisが期待でき、歯根未完成歯が感染を伴わない歯髓壊死に陥った場合、pulp revascularizationという歯髓の自然治癒が期待できる。また、脱臼性の外傷で歯髓壊死に陥った歯根完成歯に、transient apical breakdownという現象を介して歯髓の自然治癒が期待できる。講演では、vital pulp therapyの有用性と歯髓の治癒について考察したい。

連絡先: 第98回モデレーター 齋藤 正寛 (歯科保存学分野)